

★貸出拡大のお知らせ★

年末年始の休館<<12/29(日)~1/3(金)>>に
ともない、下記の期間中は資料の
貸出点数・貸出期間を一部拡大します。

(図書・雑誌) 貸出期間 3週間に拡大
12月17日(火)~12月28日(土)

(視聴覚資料) 貸出期間 2週間に拡大
12月24日(火)~12月28日(土)

貸出点数は合計15点まで

(雑誌は5冊・視聴覚資料は1点まで)

※休館中の視聴覚資料<ビデオ・DVD・CD等>以外の
返却は、本のポストをご利用ください

展示のご案内

㊦一般展示㊦

「明智光秀の生きた時代
~2020年大河ドラマ『麒麟がくる』~」
期間:11月28日(木)~1月28日(火)

㊦児童展示㊦

「おもしろいよ!世界の絵本」
期間:~12月24日(火)



直方市立図書館カレンダー

12月

日	月	火	水	木	金	土
①	2	3	4	5	6	⑦
8	9	⑩	11	12	13	⑭
15	16	17	18	19	20	⑳
㉒	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

会場:★ユメニティ小ホール、◆図書館前ロビー、その他は図書館おはなしコーナー

- 1(日) 14時~ ブラックパネルシアター(なのはな教室)★
- 5(木) 10時~ 初心者向け絵本講座②(ユメニティ会議室3)
- 7(土) 14時~ おはなし会(やまびこ会)
- 10(火) 11時~ 乳幼児向けおはなし会(麦のこ)
- 14(土) 14時30分~ おはなし会(赤ずきん)
- 21(土) 11時~ おはなし会(まほうの箱)
- 22(日) 10時~14時 おもちゃ病院 ※受付終了:13時◆
11時~ おはなし会(図書館職員)

1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	⑪
12	13	⑭	15	16	17	18
⑰	20	21	22	23	24	25
㉒	27	28	29	30	31	

- 11(土) 10時~ 冬のわくわく♪としょかん教室(ユメニティリハーサル室)
14時30分~ 認知症カフェ図書館(ユメニティ会議室3)
14時30分~ おはなし会(赤ずきん)
- 14(火) 11時~ 乳幼児向けおはなし会(麦のこ)
- 19(日) 14時~ おはなし会(れろの会)
- 26(日) 10時~14時 おもちゃ病院 ※受付終了:13時◆
11時~ おはなし会(図書館職員)

太字は17時閉館、■はお休み
○は行事のある日です

TEL.0949-25-2240 直方市山部 301-11
開館時間 火~土 10:00~19:00、日・祝 10:00~17:00



12月号のテーマ

異世界

毎月、司書がひとつのテーマにそって
本を紹介します。()は司書のペンネームです。

「アリス！」

山本容子/著 726.6 ヤ

ルイス・キャロルの「不思議の国のアリス」と「鏡の国のアリス」。本書はこの2つの異世界を、銅版画家の著者がダイナミックに表現しています。

ページいっぱいに駆け巡るキャラクターたち、ランダムに散りばめられたアリスのセリフ。どれも奇想天外なストーリーにぴったりで、自由な発想で楽しめる創作絵本になっています。

(K)

「10の奇妙な話」

ミック・ジャクソン/著 933 シ

標本の蝶を蘇らせようとする少年、川の氾濫を待つ男、骨に魅了された少女…。本書はちよつと変わった住人たちの10の物語が収録された短編集です。

これらのお話の舞台は異世界？いや、あなたが気付いていないだけで案外すぐ傍にあるのかもしれないよ…。

(ロア)

「赤い月と黒の山」

ジョイ・チャント/著 K933 千

兄弟であるオリヴァ、ニコラス、ペネロピーの3人は、とある少年に導かれて木戸を越える。するとそこは見知らぬ世界。オリヴァはフルナイ族が住む場所へ、ニコラスとペネロピーは黒の山と呼ばれる雪山へと落ちる。

3人は見知らぬ世界で起きていく出来事にどう立ち向かい、何を思うのか。3人の言動や変化にドキドキハラハラさせられる一冊です。

(京)

「月とアポロとマーガレット」

月着陸をささえたプログラマー」

ディーン・ロビンズ/文 K289 ハ

主人公マーガレット・ハミルトンは、子どもの頃から好奇心旺盛。特に宇宙に興味を持った彼女は熱心に数学を勉強しました。当時開発されたばかりのコンピューターを使って沢山のコードとプログラムを作り、その知識を生かしてNASAの新しい計画に参加。彼女の好奇心と努力が「アポロ11号月面着陸」成功へと繋がっていく。

(YY)

「民話の世界」

松谷 みよ子/著 388.1 マ

この世と異世界の境目に潜む妖怪。今でも昔話やアニメなどで子どもたちを魅了しています。昔話、伝説、世間話を含む民話は、人々の生活の中から生まれ語り継がれてきました。

この本は、民話に魅せられた児童文学作家の松谷みよこさんが、その世界の面白さ、豊かさについて書かれたものです。「つつじのむすめ」など印象的な民話も多数紹介されており、日本人の生活に深く根ざす民話の世界に触れられる一冊です。

(tm)

「博多あやかし食堂よろず」

あさぎ 千夜春/著 BF ア

福岡市の地下鉄天神駅近くに出現する、幽世と現世の境界“天神六丁目ビル”。料理上手な高校生の克真は、ひょんなことからそこに迷い込み、ビルにある「食堂よろず」で働くことに。その店は、あやかし達が通う料理店で、かつて克真に料理を教えてくれた祖母・時子も働いていた店だった。あやかし相手に奮闘する克真の美味しい物語。

(ペコ)